

# Fusyo Collaboration letter



2月7日 No.35 文責 廣田 秀俊

## 調べる・まとめる・体験する・広める

ソーセージ・チーズ・トマト・サラミ・ピーマン等を使って、各自それぞれの材料でピザの調理が始まりました。総合的な学習の時間の5年生の様子です。



これまでの時間に、子供たちは、何を課題とするかから始まり、話し合いを積み重ねてきました。【防災について】【SDGsについて】【世界について】の三つの課題に絞られた後も、みんなの意見を聞き合いながら、自分たちにとっての、関心や疑問を追求していく対象を探っていきました。

子供たちは、世界に目を向け、文化・言語・あいさつ・食べ物等から、『人に役立つもの』『知ってもらいたいこと』『自分たちでできること』を意識し、調べ学習へと突入していきました。



一人一人が自分の興味のある国やテーマを調べていくことで、その国の特徴をまとめていきました。その中で、食について注目することで、さらに詳しく活動できることはないかを考えていきました。

大分大学の留学生との交流の時間に、外国語の学習だけでなく、総合的な学習の時間の学びにも着目しながら、様々な国の紹介を聞くことで、新たな取り組みを実践していくことにしていきました。それが今回の調理実習へとつながっていきます。

クラスで交流した留学生は、ガーナ・イギリス・イタリア・フランスと多くの文化や食の様子を知ることができました。子供たちは、イタリアの食に注目し、ピザとティラミス調理していくことにしました。



エプロン姿の5年生からティラミスの材料を聞きました。コーヒー・クッキー・クリームチーズ・マシュマロ・牛乳、これらを使って班で協力して進めていきます。ティラミス調理後は、餃子の皮でピザを作っていました。包丁の手の置き方を伝え合ったり、焼き加減を調整したり、ピザの材料にこだわって作ったりと、それぞれが自分の課題も持ちながら活動していきました。この体験を広めていく活動へと、さらに進んでいく計画です。

レシピ本作成に向け、『味について』『おいしくするポイントについて』等、何を誰にどんな風に伝えていくかを思考しながら、まとめていくことになります。総合計70時間をかける総合的な学習の時間の5年生版のゴールへ向けて、また一歩進んでいきます。

